



四日市市立西朝明中学校

令和6年度 第6号
令和6年6月7日(金)

にしあさけ

🌀📍 学校保健委員会開催～熱中症予防も呼びかけ～📍🌀

6月3日に西朝明中学校の学校医・渥美伸一郎医師を学校にお迎えし、学校保健委員会を開催しました。議題は本校生徒の健康状態についてです。

- ・肥満傾向がみられる生徒も成長にしたがって解消されているのは極端な肥満が少ないと考えられる。
- ・視力については1.0未満の割合が全国の約6割に比べ4割と少ないことは良い。
- ・歯科についてはう歯(虫歯)の保有率が全国と比べ少ない。しかし、未処理の生徒もおり心配である。
- ・保健室来室状況等を見ると昨年は6月が多く、この1か月の生徒の生活の安全を呼び掛ける必要を感じる。
- ・感染症について、昨年度はコロナ禍の影響でインフルエンザの免疫率が下がっており発生が多かった。



- ・熱中症予防については体を暑さに慣らすことが大切である。また、水分を早めに摂取する習慣をつけさせたい。登下校時には帽子や日傘の使用を推奨するとよい。などの意見が交わされました。今後、熱中症が警戒される時期になりますが、一番の予防は規則正しい生活です。早寝早起き朝ごはんを心がけましょう。

👥 2年生マナー講座～職場体験に向けて～👥

6月11日に職場体験学習でお世話になる事業所様に事前打合せに伺うにあたり、社会生活でのマナーについての講座を5月31日に実施しました。株式会社マナーマネジメント名古屋の篠田千晴様を講師にお招きしてご指導いただきました。姿勢・挨拶・身だしなみ等で相手にどう見られているのかを意識することで自分の価値を高め、自分のプラスになることを知りました。



特に出会いの場、最初の1分間でその後の結果が変わってくるとお話いただきました。そして、その姿は日々の積み重ねが自然と出てしまうのもでもあります。この学びを職場体験当日に活かしていくことは当然とし、今後の人生の糧として、豊かな人生を歩むための力としてもらいたいです。

論理的思考力向上推進校 & 学びの一体化公開授業

6月6日に四日市市教育委員会の指定事業である論理的思考力向上推進校として、また、学びの一体化（西朝明中学校区の保幼こ園と小中学校が連携し、地域の子どもの学びをつなぐための事業）の公開授業を実施しました。昨年度に引き続き中京大学教授（昨年度までは鳴門教育大学准教授）の泰山裕先生をお招きし、助言と講演をいただきました。泰山先生には令和6年度も、本校教員の授業力向上に向けて引き続き助言をいただきます。（本校教育ビジョン重点目標「生きて働く学力の養成」の実現に向けた研修です。）



公開授業では2年生理科の堀江泰輔教諭が授業者として、「血液の循環」をテーマにおこないました。この授業の中で生徒は「血液の循環」と既に学習した「肺・肝臓・腎臓・小腸の働き」を『関係づける』ことや、血管に流れる血液が流れる場所によって血液に含まれる物質が異なることを『比較する』ことを意識して学習を進めました。この『関係づける』『比

較する』といった学び方を「思考スキル」と呼びます。様々な思考スキルを使って人は思考を深めていきます。四日市市論理的思考力向上推進事業では、目の前にある問いに対して思考スキルを使って思考を深めていくことで、その問いの答えを自らの力で導き出していくことができるのかを自然に選択できるようになることで、論理的に思考する力が向上すると考えて取り組んでいます。



授業の詳細は6月7日の西朝明中学校ホームページをご覧くださいとして、本校ではユニバーサルデザインの考



え方を取り入れた授業、一人一台端末（タブレット）ICTの有効活用した個別最適な学び、表現活動を意識した協働的な学び、様々な課題解決に対応できる手法（思考スキル）取得を意識したミニ探究的な学びの充実を学校づくりビジョンの中にも掲げ目指しています。

今の中学生が大人になったときにはSociety 5.0の時代とかVUCA時代とよばれる未来を生きていかなければなりません。変化の速い時代を生き抜く人材となるためにも、これまでの価値観や知識だけでは対応できないことを前提に未来を創造できる力が必要となります。



西朝明中学校では自ら問を立て、主体的に考え、一つでない答えの中から最適解を導き出す力を高めるための授業を意識して今後も取り組んでいきます。